

使っている花 ■ ヒヤシンス
「デルフトブルー」他2色、コ
ニファー「ブルーアイス」、ム
スカリ(球根付き)

1
月
January



ヒヤシンス

花言葉 優しくかわいい/勝負

小さなブルーからあふれる春
香りが主役のおもてなしテーブル

プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 花を咲かせる栄養分が詰まった、茎の根元が太いものを選びましょう。
- カットした際に出るぬめっとした樹液は、ティッシュなどで軽く拭き取ってから活けると良いです。
- 下の方の咲き終わって萎れた花は早めに摘み取りましょう。
- 室温が高いと茎が伸び早く咲いてしまうので、なるべく涼しいところに飾りましょう。

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ① 低めのバスケットの中に、グラスやジャムの瓶など水を入れられる器を複数個仕込みます。
- ② 花の重みで倒れないよう短くカットしたヒヤシンスを、各器に活けていきます。
- ③ 細かくカットしたブルーアيسの小枝を器と器の間に並べるようにあしらいます(水についてなくてOK)。ヒヤシンスの花は花弁が肉厚なので、一輪一輪ばらして水から離してもしばらく楽しめます。細いワイヤーに花を一輪ずつ通して輪にし、小さな香りの花冠にしても素敵です。

癒しの香りでのりフレッシュ

小さなベルのような花一輪からも香る濃密なフローラルノートと、爽やかなグリーンノートが絶妙にブレンドされたフレッシュな香り。ヒヤシンスの香りには、心身を癒してくれる鎮静効果もあるのです。ヒヤシンスポットで球根を水栽培、花が咲くのを心待ちに初春のインテリアとして飾ってもかわいいですね。

Hyacinth

